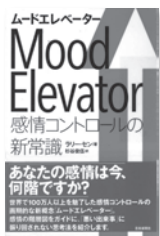


# 広川町立図書館へ行こう!

☎ 広川町立図書館 ☎ 0943-32-1163



## ■ 今月のおすすめの本



**ムードエレベーター**  
ラリー・セン / 著  
芸術新聞社



**家庭科3だった私がワードローブ100%手作り服になりました。**  
津田蘭子 / 著  
ワニブックス



**知っておきたい日本の絶滅危惧植物図鑑**  
長澤淳一 / 著  
創元社



**世界の美しくてミステリアスな場所**  
パイインターナショナル / 編著  
パイインターナショナル



**女北斎になりすました女**  
檀乃歩也 / 著  
講談社



**魔女たちは眠りを守る**  
村山早紀 / 著  
KADOKAWA



**ぼくらのセイキマツ**  
伊藤たかみ / 著  
理論社



**ダヤン、奇妙な夢をみる**  
池田あきこ / 著  
ほるぷ出版



**はじめてのちきゅうえほん**  
てづかあけみ / さく・え  
パイインターナショナル



**ぼくとマリナちゃん**  
くすのきしげのり / さく  
東洋館出版社

## ■ プチ・シアター「綾小路きみまろ 爆笑最新ライブベストセレクション②」

無料上映

- 日時 12月2日(水)、① 10:30 ~ 11:47 (10:00 開場)  
② 14:00 ~ 15:17 (13:30 開場)
- 場所 町民交流センター「いこっと」2階大研修室
- 定員 各30人 (要予約)

## ■ 博多人形干支絵付け体験講座

「丑」に絵付けしよう!

- 日時 12月10日(木)、13:30 ~ 16:00 (受付 13:00 ~)
- 場所 町民交流センター「いこっと」2階大研修室
- 定員 先着15人 (要材料費 800円)
- 講師 博多人形師 松尾吉将さん
- 申込期間 11月4日(水) 10:00 ~

## ■ 11月のおはなし会 [場所・読み手]

- 7日(土) 10:30 ~ 10:45 児童向け [お話しの森・きらら]
- 11日(水) 10:30 ~ 10:45 乳幼児向け 「かっちゃんこ」  
[お話しの森・絵本コンシェルジュ]
- 15日(日) 10:30 ~ 10:45 児童向け  
[お話しの森・たまてばこ]

## 町立図書館ここがすごい!

vol.8 雑誌の種類は 100 以上

隔月連載。町立図書館の良さをお伝えします

雑誌が充実している広川町立図書館。旅やスポーツ、ファッション、ビジネスなど、多種多様なジャンルの雑誌が、113種類もそろっています。週刊誌、月刊誌、季刊誌、不定期刊行雑誌など、最新刊をいつでも読むことが可能です。買い損ねてしまった既刊本も、1年以内ならばいつでも借りられます(最新刊は貸し出し不可)。それ以前の雑誌でも、3年程度(週刊誌は1年程度)は閉架書架に保管していますので、ご覧になりたいときはスタッフへお声かけください。

## ■ 11月の休館日

- 2日(月)・5日(木)・9日(月)・16日(月)・24日(火)・30日(月)
- 毎週(月)・第1(木)が休館、(月)が祝祭日の場合は翌日以降の直近の平日が休館

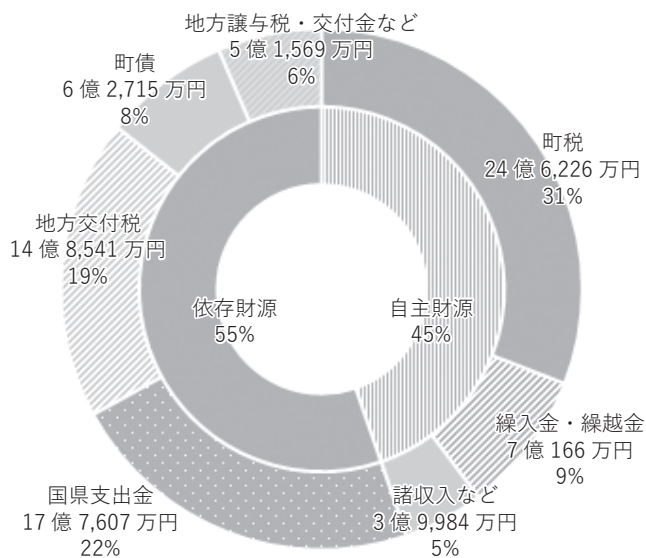
# 令和元年度決算報告

問 総務課財政係 ☎ 0943-32-1255

単位未満を四捨五入しているため、合計が一致しない場合があります。

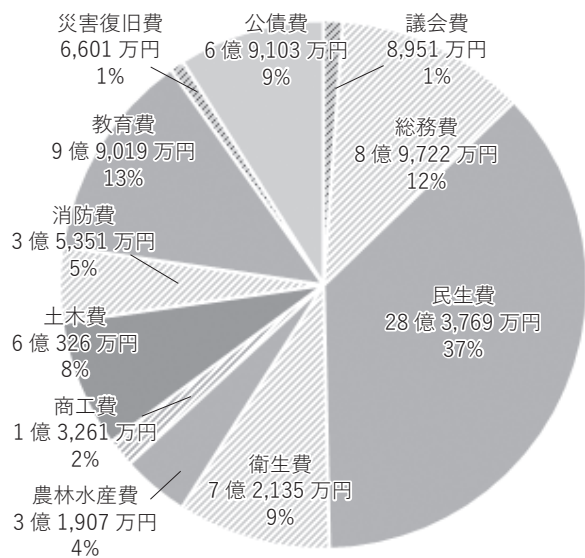
## 一般会計歳入 79 億 6,808 万円

国や県に頼った依存財源が 55%、町が調達できる自主財源は 45% です。法人住民税は企業収益減などで減少した一方、個人住民税や固定資産税が増加したことで、町税全体としては増加しました。普通交付税も基準財政収入額減により増加、国庫支出金や地方債も増加し、最終的に 3 億 7,527 万円増加しました。



## 一般会計歳出 77 億 143 万円

民生費（保健・福祉センターの工事費や自立支援給付費など）や衛生費（一部事務組合への水道事業に係る出資金やごみ処理に係る負担金など）、教育費（下広川小学校屋内運動場改築工事費など）など、公債費を除くすべての項目で増加し、最終的に 5 億 3,321 万円増加しました。



- 庁舎建設事業費（繰越含む） 3490万円  
地上4階建て・鉄筋コンクリート造りの新庁舎の基本設計が完成し、備品基本レイアウト設計、サイン計画などを行いました。
  - 地域おこし協力隊事業 1820万円  
地域おこし協力隊が久泉集会所 Main と、移住定住促進センター兼滞在交流施設 Oribe（以下 Oribe）を拠点に、イベントの企画運営、町の情報発信などを行っています。
  - ひろかわ移住定住促進事業 466万円  
Oribeを拠点に、お試し居住事業などの定住促進、滞在交流を行っています。
  - 広川チルドレンズパーク事業 7279万円  
公園整備に係るワークショップ
- 一般会計の歳入は79億6808万円、歳出は77億143万円で、差し引きは2億6665万円。翌年度に繰り越した事業の財源を差し引いた実質収支額は9413万円の黒字となり、そのうち1000万円を財政調整基金に積み立てました。
- 令和元年度に実施した主な事業は次のとおりです。

## 特別会計

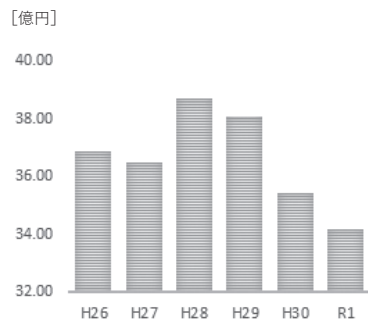
4つの特別会計の実質収支はすべて黒字となりました。そのうち国民健康保険特別会計は5,149万円の黒字、後期高齢者医療特別会計は791万円の黒字となりました。

広川町では、将来の医療費抑制に向け、特定健診受診や保健指導を進めています。

	歳入	歳出	差引
国民健康保険特別会計	24億1,700万円	23億6,551万円	5,149万円
後期高齢者医療特別会計	2億7,545万円	2億6,754万円	791万円
住宅新築資金等貸付特別会計	136万円	8万円	128万円
広川防災ダム管理特別会計	3,166万円	2,871万円	295万円

## 基金（町の貯金）

年度間の財政調整や地方債の償還、学校建設など、特定の目的のために15種類の基金を積み立てています。令和元年度末の現在高は、保健・福祉センターの空調更新工事や、子どもの遊び場整備工事などで基金の一部を取り崩し、減少しました。

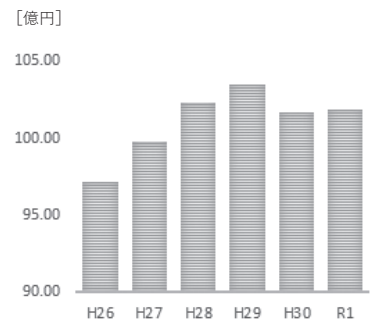


	決算時現在高	前年度比
財政調整基金	17億7,774万円	△9,746万円
減債基金	2億130万円	+1,041万円
学校建設基金	1億6,456万円	+2,892万円
公共施設整備基金	9億6,234万円	△1億323万円
国民健康保険財政調整基金(特別会計)	4,012万円	(令和元年度新設)
そのほか10基金	2億7,079万円	△639万円
合計	34億1,685万円	△1億2,763万円

## 町債（町の借金）

一般会計、ダム会計、水道事業会計、下水道事業会計の4つの会計で借り入れています。

水道事業の残高は減少しましたが、下水道事業は事業の進捗により、増加しました。



	起債残高	前年度比
一般会計	70億5,739万円	△1,370万円
ダム会計	1,080万円	+750万円
水道事業	3億7,622万円	△4,587万円
下水道事業	27億3,871万円	+6,985万円
合計	101億8,312万円	+1,778万円

- 下広川小学校屋内運動場改築事業（繰越含む）  
4億4,900万円  
昨年3月に着工した改築が完了しました。
- 私立保育所委託費等  
5億9,700万円  
私立保育所の運営費を支出しました。
- 起債元金  
6億4,085万円  
過去に実施した起債事業の元金を償還しました。
- 児童手当費  
3億4,453万円  
次代の社会を担う子どもたちの健やかな育ちを応援するために支出しました。
- 自立支援給付費  
4億2,533万円  
障がい者が介護、医療などのサービスを受けるために支出しました。
- 八女地区消防組合負担金  
2億7,941万円  
八女地区消防組合へ負担金を支出しました。
- ごみ・し尿処理事業費  
2億6,556万円  
八女西部広域事務組合、八女中部衛生施設事務組合へ負担金を支出しました。

## 公営企業会計

上水道・下水道事業は、加入者のみなさまの負担金を主な財源として運営しています。下水道事業は特別会計でしたが、令和元年度から公営企業会計へ変わりました。

資本的収支の不足額は、損益勘定留保資金（減価償却費などの現金支出を伴わない経費を蓄積した資金）などで補いました。

			歳入	歳出	差引
水道事業	収益的収支	水道をお届けするための経費とその財源	3億7,589万円	3億22万円	7,567万円
	資本的収支	水道施設をつくるための経費とその財源	825万円	1億1,096万円	△1億271万円
下水道事業	収益的収支	下水道を利用するための経費とその財源	3億5,226万円	3億2,341万円	2,885万円
	資本的収支	下水道施設をつくるための経費とその財源	2億9,175万円	3億8,547万円	△9,372万円
	特例的収支	特別会計からの移行による精算額	871万円	3,813万円	△2,942万円

## 財政状況

 健全化判断比率

## 実質赤字比率

標準財政規模に対する歳入総額から歳出総額を差し引いた額の割合

## 連結実質赤字比率

全会計の赤字額から黒字額を差し引いた額を標準財政規模で割った比率（一部事務組合、広域連合、公社などは対象外）

## 実質公債費比率

一般会計が負担する元利償還金と準元利償還金の標準財政規模に対する過去3年度平均の比率（収入のうち、どれくらい借金の返済にあてている

	実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
平成30年	0.0% (-4.2%)	0.0% (-28.1%)	7.3%	11.8%
令和元年	0.0% (-2.2%)	0.0% (-26.7%)	8.0%	20.8%
早期健全化基準 (イエローライン)	15.0%	20.0%	25.0%	350.0%
財政再生基準 (レッドライン)	20.0%	30.0%	35.0%	—

かを示すもの)

## 将来負担比率

将来支払う可能性のある負担の現時点での残高を指標化した数値で、財政を圧迫する可能性を示す指標（債務負担行為支出予定額や一部事務組合などに関する負担見込み額も含む）

 経常利益収支比率

経常経費（人件費、町債の返済金など）が経常収入（町税など）に占める割合。数値が高いほど財政運営に余裕がないといわれています。

平成29年	平成30年	令和元年
90.1%	95.3%	94.9%

※類似団体平均（平成30年）……91.1%

 財政力指数

行政で必要とされる標準額に対する税収の標準額の割合（過去3年度の平均値）。「1.0」に近いほど財政力が強いとされています。

平成29年	平成30年	令和元年
0.62	0.64	0.64

※類似団体平均（平成30年）……0.67